行　　　　　　　　動

一、設立ノ際幹理者タル中西伊之助ハ元新聞京太ノ労働聯合會ニ顧問タリシガ中途会ノ人ト意見ノ相違ヲ来シ脱会スルニ当リ会員タル遠山健吾ヲ教唆シテ全人ノ勤務シタル電気局浜松工場ノ会員ヲ率ヒテ脱会セシメ目的労働組合総本部ナル撥称者ナル提携ノ会ノ支部タル目的ナルヲ以テ全人ヨリ多少ノ資金ヲ得電気局車掌運転手ヨリ成ル交通労働組合ヲ組織センコト企テ遠山ヲシテ本所車庫西部東京等ヲ慫慂シ第一着ニ本所車庫員ヲ勧誘シテ茲ニ本組合ヲ組織スルニ至レルモノニシテ当時中西ハ時事新報記者ニシテ本組合組織ニハ全ク影武者タルニ過キサリシカ其後専任理事トシテ就職シタルモノナリ

一、大正八年九月十一日午後五時ヨリ本所区出二業所江東倶楽部ニ於テ本所支部発会式並ニ一周年祝賀会開催来会者百六十名午後九時閉会島上勝次郎西部東部中西伊之助、遠山健吾外田尻市長等ノ演説アリタリ

一、全年九月廿五日下谷金杉三輪町賞席新世界ニ於テ午後五時ヨリ三輪支部発会式挙行来会者約五十名西部東部外七名ノ演説アリ午後九時閉会ス

一、全年十月四日午後四時ヨリ本所区外手町外手倶楽部ニ於テ茶話会開催来会者三十七名（内新聞記者二名）主トシテ中西ヨリ団結ノ必要ヲ述ベ後右組合員ヨリ十銭宛ヲ出シタル会費ヲ三十銭トナシ十銭ハ雑誌代トシ残額ハ組合員救済ノ費用ニ積立テルコトヲ決議シ午後十時閉会ス

六、全年全月日本交通労働組合月報第一号発刊研究トシテ中西伊之助ノ「労働組合」ナル論説ヲ掲ゲタル外会員役員ノ数其他ニシテ視ルベキ記事ナシ但第二号以下発刊セズ但シ本号ノ終リニ宣言ヲ掲示セリ其ノ要領左ノ如シ

「交通労働ハ文化ノ母ナリ然ルニ吾人ノ生活ノ実際ハ技術ノ熟練、業務ノ危険、服務時間ノ不定ハ労働者中ノ首位ヲ占メ受クル待遇ハ父母妻子ヲ養フヲ得ズ仍テ精神的物質ニモ社会ノ一員トシテ均等ノ機会ヲ要

（以上）